

事業所職員向け 令和5年度 放課後等デイサービス 自己評価表(中野区療育センター)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や、改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	56%	44%	0%	・放デイとしての占有している面積だけでも基準を大きく上回ります。また児発の空き部屋なども利用することができます。	・近隣の公園や図書館などの社会資源も積極的に活用していきます。
	2	職員の配置数は適切であるか	69%	31%	0%	・基準と加配加算分に加えて更に職員を配置しています。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	88%	13%	0%	・室内、トイレなどバリアフリー対応。また共有ですが、車いす用の個室もあります。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	63%	25%	13%	・日々の振り返りを行い、次回の改善につなげている。	・今後も運営会議を開催し、検討していきます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	63%	31%	6%	・保護者会（勉強会後）にアンケートにご協力頂き、参考にさせて頂いています。	・今後もご意見をいただきながら、サービスの質の向上に努めます。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	63%	38%	0%	・毎年公開しています。	・今後もご意見をいただきながら、サービスの質の向上に努めます。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	69%	31%	0%	・3年に1回第三者評価を実施しています。 ・定期的にクラス、各専門職、管理職にスーパーバイズやオンブズマン活動の導入をしています。	・令和5年に受審しました。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	75%	25%	0%	・スーパーバイザー、外部研修（TEAACHプログラム、強度行動障害支援者養成研修、児童発達管理責任者基礎研修など）の受講を行いました。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	81%	19%	0%	・子どものニーズなども併せて考えながら作成する書式にしています。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	56%	31%	13%	・保護者の方に記載頂くアセスメント票と、職員が子どもの観察をしながらつけていくアセスメント書式を使用しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	56%	31%	13%	・曜日ごとの担当スタッフを決めつつ、職員全体で検討、準備を行っています。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	81%	19%	0%	・その日の活動班の参加児に応じて活動内容を調整、検討しています。	・法人内の事業所との連携や、外部研修、スーパーバイズなども活用し、より幅広い活動を提供していけるようにします。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	75%	25%	0%	・一日利用の場合は公園、外食、買い物など外出活動の設定も行っています。	・より幅広い社会資源などを活用したプログラムも考えていきたいと思います。
適切な支援の提供	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる放課後等デイサービス計画を作成しているか	88%	13%	0%	・お子さんの状況やニーズに応じて1：1で個別対応を行う場合もあります。 ・活動はクラス単位ではなく、ねらいに応じて小集団に分けて設定、提供しています。	・徐々に小集団にも参加していけるように支援しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	73%	27%	0%	・事業所全体のミーティング後に、放デイスタッフでのミーティングを行っています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	100%	0%	0%	・利用児降園後に当日参加職員にて情報を共有しながら記録を行っています。	・より効率の良い記録方法（書式、計画との連動など）またPC、タブレットなどICTの活用
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	81%	19%	0%	・利用児降園後に当日参加した職員にて情報共有をしながら記録を行っています。	・ICT機器の活用や、記録ソフトの導入などより効率よく実施していける仕組みを検討していきます。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	67%	27%	7%	・半年に1回の面談、保護者からの聞き取りを元に個別支援計画を作成しています。 ・ご要望がありましたら、定期面談以外の時期でも面談を承ります。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	53%	47%	0%	・ガイドラインを参考に、その日ごとの活動プログラムを設定しています。	

事業所職員向け 令和5年度 放課後等デイサービス 自己評価表(中野区療育センター)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や、改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	73%	27%	0%	・利用児の担当職員、管理職などが参加しています。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	73%	27%	0%	・毎月保護者の方に下校時間の確認。毎日送迎委託先の宮園自動車と利用児の確認を行っています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	64%	36%	0%	・医療的ケアが必要な場合は、医療的ケアの指示書を提出頂き、ゆめなりあ医療的ケア会議（嘱託医参加）の元、確認をして受け入れています。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	47%	47%	7%	・利用開始時にはそれまでの支援計画などの情報提供を保護者に求めています。 ・ゆめなりあ児童発達支援をご利用の方については、事業所内での情報共有を行っています。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	29%	71%	0%	・現在まだ就労した方は居ません	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	53%	40%	7%		・他の区立施設ともより連携し、地域福祉を支えていく一役を担っていただけたらと思います。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	7%	33%	60%	・現在地域の行事、事業所との交流は行うことができていません。	・児童館など子ども同士の交流を図りつつ利用できる活動内容などニーズに応じて設定を検討していきます。
関係機関や保護者との連携	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	27%	53%	20%	・中野区自立支援協議会へは正夢の会から弥生福祉作業所施設長が参加しています。	・今後中野区にも児童発達支援を対象とした分科会、連絡会が設けられることが望まれます。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	80%	20%	0%	・連絡帳にて日々の様子を確認してから支援に臨んでいます。	・連絡帳アプリなど、保護者、事業所の情報共有の効率化などを検討していきます。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	33%	53%	13%	・勉強会の開催は行っていますが、ペアレントトレーニングの企画は行っていません。	・学齢期保護者のニーズを確認し、外部講師、外部機関の協力など取り組みに向けて検討をしています。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	60%	40%	0%	・事業所の情報、利用料金等は利用契約時に説明しています。 ・運営規定は玄関に設置しています。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	73%	27%	0%	・定期的な面談に加えて、保護者から希望があれば個別面談や見学ができます。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	20%	60%	20%	・現在保護者会は勉強会と合わせて開催しています。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	81%	19%	0%	・苦情相談窓口、苦情解決責任者、オンブズマン、外部相談先など契約時、利用のしおりなどで定期的におしらせていします。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	81%	19%	0%	・毎月1回ゆめなりあ便りを作成、配布しています。 ・年4回法人の広報誌を発行しています。	
	35	個人情報に十分注意しているか	88%	13%	0%	・法人の個人情報保護規定を定めています。また今年度職員への個人情報保護の誓約書の書式を改定し、改めて確認、署名を行っています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	94%	6%	0%	・利用児の遊びや活動での要求場面では写真カード、現物など利用児の理解に応じて使用しています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	44%	38%	19%	・南中野区民祭りに作品展示として参加しています。 ・地域啓発事業として発達障害の理解などの勉強会を行っています。	・今後地域の方へより子どもたちの作品や、私たちの支援について知って頂く機会を増やしたいと思います。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	38%	56%	6%	・各マニュアルなどの作成、見直し時期などを設定しました。 ・各種マニュアルは事務所にて共有できるように保管しています。今後定期的な見直しの元で運用を進めていきます。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	75%	25%	0%	・毎月事業所として避難訓練を実施しています。	・今年度は避難訓練の他にAEDの使用について消防士の方からの指導や、不審者対応について警察官の方に来ていただいて訓練を受けました。

事業所職員向け 令和5年度 放課後等デイサービス 自己評価表(中野区療育センター)

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や、改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	81%	19%	0%	・法人として年に2回の虐待防止の研修を行っています。また事業所としても2カ月に1回程度の虐待防止・権利擁護の為の研修を行っています。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	50%	50%	0%	・身体拘束のガイドライン、記録書式を定めています。	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	75%	19%	6%	・保護者よりアレルギーの確認書類を頂いています。毎朝のミーティング内にて当日のアレルギー等注意事項の確認を行っています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	63%	31%	6%	・日々の振り返りの中でインシデント・アクシデントレポートを作成しています。法人の書式にてレベル、内容を記録し、毎朝のミーティングで前回の事故など確認しています。	